

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月24日更新

事務事業名	年金生活者等支援臨時福祉給付金(低所得高齢者)支給事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	三苫 幸浩
	施策	6	社会福祉の推進			所属課	福祉課	担当者名	松永 博貴
	施策の柱	24	生活保護世帯・生活困窮世帯への支援			所属班	社会福祉班	(内線)	2126
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 15	事業連番 11702	根拠法令	成果優先度評価結果 : - コスト削減優先度評価結果 : -		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	国策ニッポン一億総活躍プランに基づく緊急に実施すべき対策として、アベノミクスの成果の均てんの観点から、賃金引上げの恩恵が及びにくい低年金受給者に支援を行う給付措置を講ずるもの。
【業務の流れ】	給付事業実施の広報→給付申請書の発送→申請書受付→受給資格の審査→支給・不支給の決定→決定通知書の発送→給付金の振込み(または現金支給)
【主な予算費目】	印刷費、役務費、委託料、補助金(給付金)
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO) ①事務支援業者の選定、契約 ②制度内容の周知 ③対象者へ申請書の送付 ④申請書の受付、支払い ⑤事務支援業者へ委託料の支払い	単年度事業のため事業終了となる。 ※別途事業「H29臨時福祉給付金支給事業(11628)」を実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) % ア: 申請者に対する支払い者数の割合 イ: 支給者数	予算の主な増減の理由 単年度事業のため総事業費の減 ※別途事業「H29臨時福祉給付金支給事業(11628)」において総事業費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人 ア: 対象者数 イ: 申請者数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア: 対象者数 イ: 申請者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) % ア: 対象者数に対する申請者の割合 イ:	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) ア: 対象者数に対する申請者の割合 イ:
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア %			0	100	98.01				
	イ 人			0	4,800	4,730				
② 対象指標	ア 人			0	4,800	4,826				
	イ 人			0	4,800	4,737				
③ 成果指標	ア %			0	100	98.16				
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		204,164	164,210				
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円							
		(A) 事業費計	千円	0	204,164	164,210				
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0				
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0				
		正規職員従事人数	人	0	0	4				
延べ業務時間	時間	0	0	710						
(B) 人件費計	千円	0	0	0						
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	204,164	164,210						

事務事業名	年金生活者等支援臨時福祉給付金（低所得高齢者）支給事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	-----------------------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部（CHECK）

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 すべての対象者に申請書を送付することができた。また、すべての申請者に対し支払うことができた。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 すべての対象者に申請書を送付することができ、また、すべての申請者に対し支払うことで達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 すべての対象者に申請書を送付し、また、すべての申請者に対し支払うため成果の余地なし。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 国の支給制度であるため他の手段がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 国の基準ののっとり行っている支給制度であるため削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人数で事務を行っているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 国の支給制度であるため適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国の支給制度であるため役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括（CHECK）

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						